

阻止ネット

「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク

私たちは、放射能汚染を防ぐためには、
原発を含む核燃料サイクル全体の問題を
捉えなければならないと考えていましたが、
六ヶ所再処理工場が運転されたなら
原発とは桁違いの放射能を環境に放出することを知り、
目前に迫る六ヶ所再処理工場の本格稼働を
止めさせることを最優先課題として、
2007年のキックオフから4年間、共に活動してきました。
しかし、2011年3月11日の東日本大震災に伴う
東京電力福島第一原子力発電所の事故により
深刻な放射能汚染が起こってしまい、
これまでの活動のままでは放射能汚染を
阻止できないことが明白になりました。
福島原発周辺の人々の生活基盤が根こそぎ奪われ、
さらに多くの人々が被曝の恐怖に
日々晒されながら暮らしています。
野菜、原乳、魚など食品からも放射性物質が検出され、
東北をはじめ広範囲の多くの生産者が
風評被害と実被害に苦しんでいます。
キックオフ集会で確認した、放射能汚染の
「脅威と恐怖は現地の人びとだけの問題ではなく、
豊かな農畜水産物の恵みをうけてきた私たち全体の問題」が、
まさに現実になってしまったのです。
私たちは痛恨の思いで放射能汚染の現実を見据え、
このような悲惨な原発事故を絶対に二度と繰り返さないために、
「脱原発」を阻止ネットの活動目的としてはっきりと掲げました。
現在、阻止ネットは、脱原発の必然性を
多くの人々に知らせる集会・
デモなどの主催や参加をするとともに、
六ヶ所再処理工場の稼働反対、脱原発1000万人署名、
脱原発法制定の活動に取り組んでいます。

賛同団体・個人 募集中です

阻止ネットの
賛同団体・個人を
さらに拡げていきます。
ぜひ一緒に活動を！



●賛同団体には、企業も参加できます。ホームページで趣意書をご確認の上、呼びかけ団体に申し込んでください。

●個人は、呼びかけ団体や賛同団体の会員、組合員、社員、顧客などとして共に活動してください。賛同個人になるには、ホームページで趣意書をご確認の上、呼びかけ団体に申し込んでください。

呼びかけ団体

- ・生活協同組合 あいコープみやぎ
- ・グリーンコープ共同体
- ・生活クラブ事業連合生活協同組合連合会
- ・大地を守る会
- ・特定非営利活動法人 日本消費者連盟
- ・パルシステム生活協同組合連合会

賛同団体・個人

- ・合計 649団体・個人(2012/8/8現在)



【連絡先】

「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク
へのご連絡は、各呼びかけ団体もしくは、

日本消費者連盟

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19-207

TEL 03-5155-4765 FAX 03-5155-4767 E-mail office.j@nishoren.org



<http://www.soshinet.org/>

「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク これまでの活動

- ① 賛同団体・個人を募っています。2010年8月8日時点で、649団体・個人。
- ② 「六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める」署名活動。
岩手県内の6つの漁協による「豊かな自然を放射能で汚さないでください」という署名も一緒に取り組みました。いずれも、内閣総理大臣と経済産業大臣の連名の宛先としました。
- ③ 「メッセージカード」の頒布。内閣総理大臣、経済産業大臣、青森県知事、六ヶ所村村長、の4者宛てのカードを1組にして、購入者がメッセージを添え切手を貼って投函する活動。10万組配布済み。
- ④ 六ヶ所村の環境試料を採取して放射能の自主測定を行ない(2009年2月、2010年2月の2回)、日本原燃と青森県のモニタリングを点検する活動を始め、いっぽうで再処理工場が本格稼働してしまう場合も想定して、放射能の警戒基準を策定して呼びかけ団体6団体で共有しました。
- ⑤ 車両用マグネットシートを作成し、頒布中。1万5千枚。デザインを公募し、「ストップ再処理」の広報活動の一環とする。
- ⑥ 集会等開催
2007年7月28日 「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク発足の「キックオフ集会」。
東京・ドイツ文化会館にて、約300人参加。
2007年8月25日 青森集会。青森市文化会館にて、約350人参加。
2008年1月27日 日比谷野外音楽堂にて集会、約2000人参加。集会後東京駅周辺をパレード。
2008年1月28日 参議院議員会館内会議室にて集会と署名提出。200人を超える参加、国会議員(秘書含め)29人出席。
「サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン」が共催。
2008年3月12日 参議院議員会館内会議室にて集会と第二次署名提出。
約150人参加、国会議員(秘書含め)32人出席。
提出署名数(1/28と合算)阻止ネット 446, 642筆、岩手県6漁協 402, 703筆
2008年6月12日 参議院議員会館内会議室にて集会、井川陽次郎読売新聞論説委員講演と意見交換。
約80人参加、国会議員(秘書含め)17人出席。
2008年11月29日 ドイツ文化会館にて集会、「ストップ再処理 市民集会～六ヶ所再処理工場の問題をあらためて問う」開催。
約220人参加。
2009年8月29日、仙台市にて、放射能自主測定結果に関する意見交換会、約90人参加。
その後、呼びかけ団体提携生産者、阻止ネット賛同団体に放射能測定結果を報告した。
2010年7月14日 飯田橋セントラルプラザにて学習会「もんじゅ運転再開と問題点」、約70人参加。
2010年9月4日 東京ウィメンズプラザで集会「ストップ再処理2010 海に空に放射能を捨てないで！」開催、約260人参加。
「六ヶ所ラブソディエー続編」上映と鎌仲ひとみ監督の話、菊川慶子さんとの対談、2009年度の放射能自主測定の結果報告など。
2011年9月19日 東京日本教育会館にて集会「ストップ再処理2011 脱原発宣言」開催、約650人参加。
2012年2月11日 1000万人署名一斉街頭署名活動。
2012年3月24日 東京日本教育会館にて集会「六ヶ所再処理工場廃止・脱原発社会の実現に向けて」
飯田哲也さんのお話し、約250人参加。終了後、日比谷野音の集会に合流。
2013年4月24日 参議院会館講堂にて集会「脱原発へ向かう政治を地域から」金子勝さん、鈴木悌介さんにお話しを伺い、
脱原発基本法制定に向けワークショップを開催、120人参加。
2013年12月1日 水道橋YMCAアジア青少年センターホールにて映画「福島 六ヶ所 未来への伝言」を上映、その後集会
「六ヶ所再処理工場と核のゴミ問題を考える」で永田文夫さん、伴英幸さんのお話し、約100人参加。
2014年5月9-11日 六ヶ所再処理視察ツアー(19人参加)。核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団や花とハーブの里。
2014年5月21日 阻止ネット脱原発フォーラム(院内集会)を開催。鎌田慧さん、伴英幸さんの講演、核燃料サイクル。

呼びかけ団体

2014年4月1日現在

団体名	代表者	事務所所在地	会員等概略
生活協同組合 あいコープみやぎ	理事長 小野瀬裕義	宮城県 仙台市	店舗を持たず共同購入と個人宅配で、地場の産直品を主に扱う生協。 仙台市を中心に組合員約1万5千人。
グリーンコープ 共同体	代表理事 田中裕子	福岡県 福岡市	西日本14府県にある会員生協とグリーンコープ連合およびグリーンコープ共済連の連帯組織、組合員約37万人。
生活クラブ事業連合 生活協同組合連合会	会長 加藤好一	東京都 新宿区	21都道府県にある32の地域生協と生活クラブ共済連合会が会員となっている連合会。組合員約34.6万人。
大地を守る会	代表 藤田和芳	東京都 港区	有機農産物と無添加食品の流通。利用者数約116,000人。会員は首都圏を中心に約9万人。
特定非営利活動法人 日本消費者連盟	共同代表 真下俊樹	東京都 新宿区	全国個人会員約1,300人。
パルシステム 生活協同組合連合会	理事長 山本伸司	東京都 新宿区	1都9県にある10の地域生協とパルシステム共済連合会が加盟する連合会組織。組合員約130万人。